

# 山本すすむ

塩竈市清水沢4丁目7-8

2018年6月1日発行

〈第7号〉

「風の会」の由来は、議会に新たな風を巻き起こし、新風を注ぐ、そんな想いからであります。

山本すすむ 後援会だより

# 風の会通信

## お陰様で3年!

この3年間、常に現場主義に徹し、お一人お一人の声を聞かせいたため何処へでも伺いました。そのような時は、市職員時代の経験が大いに役立ちました。

私の信条であります「我以外皆我師」を忘れず、「丁寧に!」「迅速に!」そして「信頼し!」問題解決に一緒に、そして真剣に取り組んで参りました。そこから見えてきたものは、塩竈の未来の姿、そして塩竈に住む人々の暮らしの姿です。主人公は勿論市民の皆様で、私の使命はその伴走者であります。伴走者は市

民の声を力に、ただひたすら共に走ることに深く肝に銘じております。

この3年間の活動がどうだったのか厳しく検証していただき、今後の活動のためにも叱咤激励して頂ければ、私にとって望外の喜びであります。私に課せられた使命、それは時代の変化を感じ、市民と共に考え、それを市政に届け、解決・実現することです。このことを改めて深く心に刻み、残された期間あくまで愚直に、議員として「居ては面倒(うるさすぎる議員)だが、居なくて困る・・・」、そんな存在感のある議員活動を続け参ります。これからも皆様方のご支援ご声援を、よろしくお願いいたします。



## 応援メッセージを頂きました!

伊保石清水沢一区

「地域を考える会」会長

私が山本さんと初めてお会いしたのは、平成27年8月の市議選でした。新人として立候補された山本さんの支援をSさん(S社元社長)に依頼されたことです。

私は町内会会長時代、地域課題について、未解決事案があることを知りました。具体的には「児童の通学路の道路改修」について、北部連絡協議会を通じて継続要望をしたものの、何ら解決しませんでした。本当に悩み、かねがね地元縁のある市議の登場を、待望しておりました。山本さんが当選されたから地域の課題を次々解決され、大いに感謝しているところでもあります。

議員就任以来、山本さんには、地元の皆さんと懇談会やカラオケ・麻雀クラブなどに顔を出して頂いております。

懇談会は、もっと地元のことを語り合うために、組織的な運営を図るべく、不肖私が会長役で、他8名の幹事と共に「地域を考える会」が3月スタートしました。まだ誕生したばかりの会ですが、元気な方々がいっぱいいます。

これからもどうぞよろしく申し上げます!

「塩釜地区退職者連合会」会長

私達退職者会は、塩釜地区退職者連合の仲間と共に、3年前から塩竈市に対し、高齢者が安心して暮らせるために不可欠な医療・介護、また公共交通としての100円市内循環バス等の改善について「要請書」を提出する活動を行っております。

山本議員には、要請内容の事前協議をはじめ、市当局との交渉にも出席していただき、回答の具体化や「市長回答」の引き出しについて、議員としての側面から、多くの有意義なアドバイスを受けるなど、大変お世話になっております。

今後とも双方の協力・連携が益々必要となる中、これからも役員会、勉強会等で議会報告や市政の課題について率直に議論し、意見交換して行きたいと思っております。

今後、これまで以上に地域の高齢者や障がい者の方、女性など皆さんの小さな声にも耳を傾け、市政に届けていただく活動を強く期待致します。益々のご健闘をお祈り申し上げます!

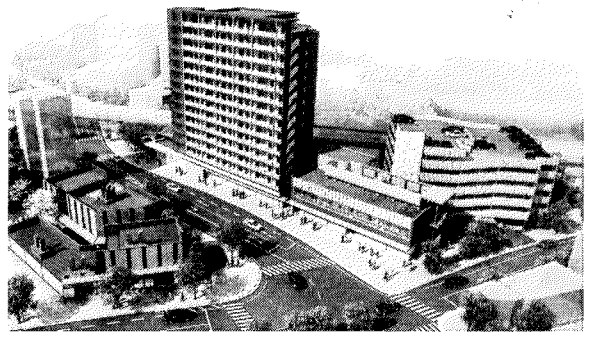
解らない  
見えない  
届かない

# 3つのキーワードのその後

## 解らない!

### 〔海岸通地区再開発事業〕

1番地区事業の遅れ（入札不調）が1年半になっており、今年3月中旬にやっと入札が成立し、いよいよマンション・子育て支援センター、そして公共駐車場が建設されることとなりました。



◀ 海岸通地区再開発（イメージパース）

総建設事業費27億6千万円（2番地区含む）で、平成32年4月オープンを目指す計画です。

議会としても、町づくりの当事者意識を持って厳しく関わって参ります。

## 見えない!

### 〔魚市場事業会計〕

昨年10月新魚市場が、観光スペース「お魚ギャラリー」も備えた新たな姿で、フルオープンしました。市場運営の基幹となる水揚げ金額は、120億円を目標と設定されています。従来の鮪特化から多獲生魚水揚げ強化の取組、つまり鯖・鰯などの青物の誘致が課題となります。

そのためにも急速冷凍施設の建設が必置で、行政・議会・業界が一丸となって実現しなければ、将来に不安が残ります。

### 〔議会中継は〕

突然の中止に市民の皆さんからも疑問と反対の声が上がりました。中止の理由は放送会社（マリネット）の機材の手配が出来なくなった、とのことでしたが、情報公開は行政にとって最も重要な要素であります。市民・議会での疑問・批判を受け、一昨年12月議会から再開となり、併せて議会改革の一つとしてインターネットによる放送を始めました。



▶ 塩釜魚市場

### 〔市立病院事業会計〕

今後、市立病院をどうするか、再三に亘って質問してきましたが、やっと調査事業予算として、2千万円が計上されました。調査のための調査に終わること無く、位置付・規模・運営方法・他医療機関との連携の有無・人材の確保・場所等について提案されることを期待します。



▶ 塩竈市立病院

### 〔環境を守る!〕

東日本大震災復旧の最中、塩釜港臨港地区に県内から集められた建設汚染残土処理プラントの建設計画が持ち上がりました。建設予定地の対岸には塩釜魚市場があり、何より大震災の風評被害に苦しむ水産加工業界にとって、正に傷口に塩を塗られるかのような計画です。早速、水産関係者と共に建設予定地を視察しました。その後、水産関係者・地元町内会の方々の反対運動で、進出企業は計画を断念しました。

素晴らしい環境を次代に引き継いで行く責任が今に生きる私達の責任です。



▶ 仙台塩釜港視察

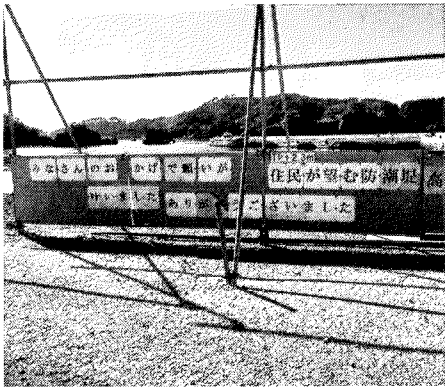
# 届かない!

## 〔野々島防潮堤〕

島の人々による「海が見えなくなる高さの、防潮堤はいらない」との反対の声が、遂に県の計画を変更させるまでになりました。事業の成果は、その事業の影響を受ける市民が判断するものと思います。

島の人々の声は「宮城県」には届きましたが、地元市である塩竈市が、届けたかは定かではありません。「事業は県だから」ではなく、市民の声を、地元市として県当局に届ける責任があるのではないのでしょうか。

## ◀ 野々島防潮堤 計画変更高

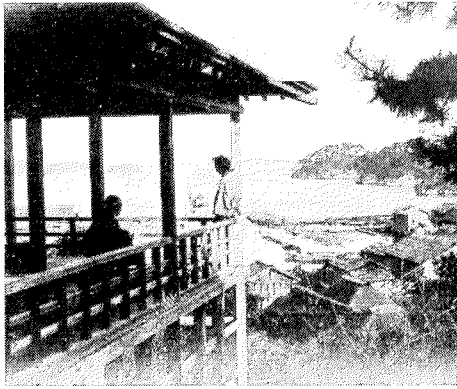


## 〔勝面楼〕

先の議会で、保存を要望しておりました2千900万円の予算が計上され、いよいよ保存に向けての調査修理事業が始まります。

やはり、届けるための声を上げて参ります。

## ◀ 明治初期頃の勝面楼



## ◀ 保存が決まった勝面楼



# 人づくりに力を!

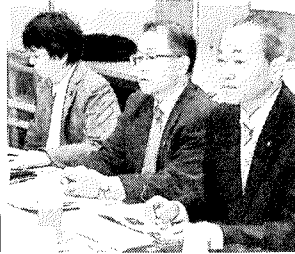
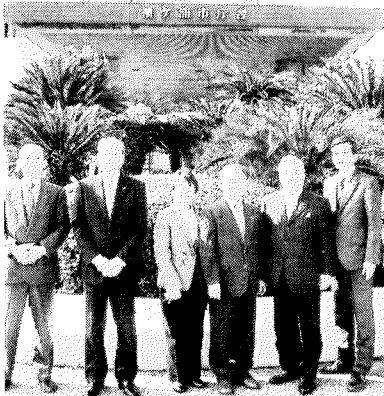
塩竈の歴史を語る場合、人づくりこそが町づくりであったことに触れなければなりません。先人は、町のインフラ整備（港湾開発・水道事業等）と併せ、「明日の塩竈の町づくりのための人づくり」にも尽力されました。

現在の塩竈高校の前身は、男女高校の2校であり、いずれも「塩竈市立」でありました。塩竈市は平成29年度から「塩竈市独自の小中一貫教育」を教育の基本方針の一つとして掲げ、取り組み始めました。

私はこれまでに、秋田県の皆瀬村小中学校、千葉県鴨川市の中学校を視察しました。

その中で学んだことは、子供一人一人が真摯に学び合っている教室には、「小さな息遣いも肌で感じ、共に信頼し合おうとしている先生がいる。」ことでした。「不登校」「いじめ」「学力格差」等々、小さな胸を傷めさせることなく、成長を見守り、育てていくことが、教育行政の現場に今、求められています。

「子供は地域の宝」を、実現できるよう議員（総務教育委員）として提言して参ります。



夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに、たくましく生きぬく子どもの育成		
平成29年度	塩竈市立玉川小学校	<重点となる取組>
<b>基礎学力の充実</b> ①基礎学力の向上を図る ②基礎学力の向上を図る	<b>主体的な学習の促進</b> ①主体的な学習の促進 ②主体的な学習の促進	<b>読書・集いの充実</b> ①読書・集いの充実 ②読書・集いの充実
<b>読書・集いの充実</b> ①読書・集いの充実 ②読書・集いの充実	<b>読書・集いの充実</b> ①読書・集いの充実 ②読書・集いの充実	<b>読書・集いの充実</b> ①読書・集いの充実 ②読書・集いの充実



# これからの取り組み

少子高齢化が深刻となってきております。塩竈市でも平成32年の人口推計が5万5千人としておりますが、既に5万4千人となり（2月末）、人口減少のスピードは加速度的に進んでおります。

町としての生業は、産業とこの町に住む人々の活気であり、私は、貴重な行政経験を大きなエネルギーとして、『山本進でなければできないこと。山本進だからこそできること』を目標に、以下のテーマを中心にこれからも真剣に取り組んで参ります。

## 1. 産業の活性化

- 新魚市場への水揚げ魚種「鯖・鰯」誘致のための急速冷凍施設の建設促進
- 水産加工品の生産、販売、販路の拡大（六次化事業）

## 2. 町の活性化

- いつでも・誰でも・どこでもスポーツに親しめる環境づくり（伊保石公園・浦戸）
- 学校教育及び社会教育分野における提言・実践行動
- 福祉の町づくり支援（あすなるホーム他）
- 100円バスの運行拡大・高齢者免許返上者への無料パスの交付（平成29年9月定例会にて提案）
- 離島における介護事業者参入促進（市独自支援提案）

## 3. 平和への取組

- 憲法改正に反対し、市民の平和を守る行動
- 地域平和労組運動との連携



「あすなる」は私の政治活動の原点です



## 編集後記

4月22日市民祭りが開催され、私も「あすなる」出店の焼きそばコーナーでボランティアをさせていただきました。沿道では、「ジャンボ鉄火巻」づくりが今から23年前の平成7年、市制施行50周年と魚市場開設60周年を記念して、110Mの鉄火巻き制作を魚市場内で行いました。おそらく生鮪での企画は、全国的にも初めての試みだったと思います。

私達市役所職員は、水青連、そして寿司屋の親方等と連日水産開放実験室で試作を繰返しました。しかし、そこに一つの壁が、「保健所の許可」であります。不特定多数の人々に生鮪を提供するのですから当然です。許可にあたり巻き方、監視体制の強化等を条件として、許可が下りました。後日談ですが、保健所の担当課長（S氏）は、辞表を懐に許可を下ろしたそうです。何事も初めての挑戦にはリスクがあります。しかし、それを恐れては新たな展開はありません。強い決意と万全な計画、準備、そしてそれを一体化して進める組織が必要です。市民祭りの「ジャンボ鉄火巻き」を見て、昔を思い出しました。

これからも、「進取の精神」を持ち続け、課題に取り組んで行くことを心に刻みました。